

# 中村設計新聞

EXPO'70

## 第七十七号

六月十五日(土)曇り

今期は『時代』を土曜研修の年間テーマとし、六月は『昭和』をとりあげ研修を行いました。



↑高さ70m、腕の長さ25m圧巻の大きさ。

### ○はじめに

六月は、日本の高度経済成長の象徴ともいえる、一九七〇年の大阪万博にスポットをあて、所内で事前学習を行った上で、万博記念公園を訪れました。EXPO'70パビリオンと太陽の塔の内部見学を通して、所員は何を感じたのでしょうか・・・

### 事前学習 (万博記念公園)

← 阪急烏丸駅発

← 大阪モノレール万博記念公園駅着

← 昼休憩

← EXPO'70見学

← 太陽の塔内部見学



### ○EXPO'70パビリオン

当時の出展施設であった鉄鋼館を利用し、博覧会の記念館として二〇一〇年にオープンしました。設計は、京都会館なども手掛けた前川国男氏によるものです。万博当時の鉄鋼館は、「鉄の歌」で、展示作品には鉄を使った芸術的な楽器もありました。



→ 当時は大屋根がありま  
した。大屋根のスケー  
ルに圧倒。



→ スペースシアター  
一〇〇八個のスピーカー  
が設置されています。



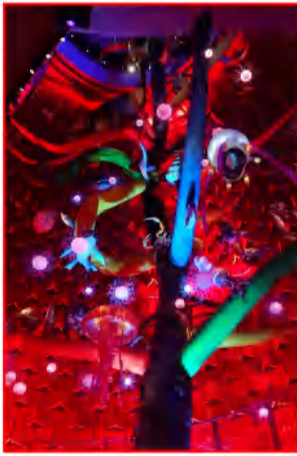
→ 岡本太郎作「手の椅子」  
座り心地はどうでしょう  
か・・・



← 太陽の塔と記念撮影

### ○太陽の塔について

万博の象徴として人間の尊厳と無限の進歩、発展が表現されています。太陽の塔には4つの顔があり過去、現在、未来、そして博覧会終了後から現在に至るまで行方が分かっていない地底の太陽です。太陽の塔内部は高さ41mの「生命の樹」があり、二九二体の生物模型が取り付けられており、原生生物から人類に至るまでの生命の進化が表現されています。太陽の塔内部再生事業には、約一億五千万円の寄付が集まり、塔の耐震工事や生命の樹地底の太陽の復元にあてられました。



上部は未来を意味する「黄金の顔」  
胴体は現在を意味する「太陽の顔」

### → 生命の樹。 岡本太郎の世界感が大爆発！

### ○レポート

広大な会場にそびえ立つ太陽の塔。おもちゃ箱をひっくり返したように点在する一六のパビリオン群。当時最先端の技術が詰め込まれたお祭り広場。現在では鉄鋼館と太陽の塔、大屋根の一部を残すのみですが、一九七〇年にタイムスリップしたような感覚と共に当時の日本建築界の熱気を感じました。ただ「人類の進歩と調和」をテーマとしたEXPO'70が、広大な森林の破壊から始まった点を見ると、技術の発展に対する慢心があったのではないかと考えてしまいます。二〇二五年には再び大阪で万博が開催されます。テーマは「いのちの輝く未来社会のデザイン」我々は五十年の時を経て進歩と調和を実現できるでしょうか。

藤川 祐一郎

### → 人の心の根源を 表す「地底の顔」

### → 背面の「黒い太陽」 過去を表している。



→ 当時の全体模型



→ 大屋根の一部は残  
っています。

### ○レポート

EXPO'70 日本国中の英知と最高技術をもって、なした事業だと想像できます。当時高校生だった私はのべ六日に巨万博に行ってます。真夏の炎天下二〜三時間待ち常で、やっと入れたパビリオンも人、また人で、一日に入れるパビリオンは二つとジェットコースターが一回といったところでした。という訳で「太陽の塔」へは恐らく行けてない(記憶にない)です。今回、内部を見学して、特に腕の鉄骨組みには驚き、感動すら覚えました。美しい！ライトアップは当時からされていたのでしょうか？絵になると思いました。次回二〇二五年には行ける体力と気力がありませんかね？

井上 紀代美

### ○まとめ

現存するものは少ないですが、太陽の塔をはじめスケールの大きさに圧倒されました。現在では記念公園となっているこの場所で凄まじい熱量をもった大阪万博が開催されていたことを改めて、実感しました。二〇二五年開催の大阪万博へより期待が膨らむ研修となりました。

### ○新人歓迎会

四月から新しい所員を迎えて二ヶ月が経ちました。恒例の歓迎会を開催しました。気持ちを引き締め所員全員で暑い夏を乗り越えましょう！



### ○中村設計新聞 十周年特集②

第十二号は、二〇一〇年に酒蔵の町として有名な伏見を十石舟に乗り、町並みの見学をした記事でした。

### ○中村設計新聞 第十二号 クイズ

伏見の水で作られるお酒の名称は何でしょうか。

- ① 男酒
- ② 女酒
- ③ 河童酒

中村設計新聞 第十二号

伏見の水で作られるお酒の名称は何でしょうか。

① 男酒  
② 女酒  
③ 河童酒

正解は②女酒です。伏見の水で作られるお酒は、女酒です。女酒は、伏見の水で作られるお酒の名称です。